

麻生区区民会議 第11回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年12月12日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、高倉秀敏委員（副部長）、橋本周委員、林恵美委員（部長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員、
（欠席）鈴木昭弘委員、長岡さや委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、長瀬
[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：1名

5 議 題：

1. 調査・審議課題の検討について

(1) これまでの審議内容の振り返り

- ・『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。

(2) 調査審議課題の検討

1) 発信する麻生区の魅力について

- ・コンサルより前回の意見を反映したまちのイメージ（案）に関する説明を行った。
- ・委員の意見を基に、イメージ（案）の文言を精査していくこととした。

【主な意見】

- ・「芸術・文化のまち」とあるが、麻生区は文化のまちと呼ばれているだろうか。
- ・芸術・文化に関しては文言を精査すれば良いと思う。

2) 麻生区の魅力の発信方法及び発信主体について

【今後の方向性】

- | |
|--|
| ・冊子のレイアウト・イメージをワークショップ形式で検討した上で、発信方法の詳細、発信主体に関して提言を具体化していくこととした。 |
|--|

【主な意見】

- ・発信内容の例（レイアウト・イメージ）を示すところまで提言に盛り込む必要があるのではないか。
- ・冊子のイメージを話し合わないと、発信方法や発信主体を具体化するのが困難ではないか。
- ・発信内容の概要まで示すことができれば、発信主体は外部の方に任せても良いのではないか。そこまで提言に盛り込めないのであれば、委員も関与すべきだと思う。

- ・発信内容のレイアウト・イメージを提言に盛り込めれば、発信主体は公募なり関係団体なり外部の方に任せても良いのではないか。
- ・発信主体については難しい問題だが、各魅力に特化した人間が必要になるのではないか。
- ・発信主体をゼロベースからということはある程度はあり得ないのではないか。議論を積んできたのであるから、委員はある程度は関与すべきであると思う。
- ・発信内容の趣旨の一つに既存の情報媒体へのアクセスがあるのであれば、既存の情報媒体発行のキーパーソンにご協力いただくことが必要になるのではないか。
- ・思いを伝えるためにも、委員は何らかの形で関与すべきではないか。組織ができれば行政とも協働して発信すべきであると思う。
- ・第5期の「(仮称)麻生区魅力PR委員会」の設置という提言は唐突な印象もあったが、第6期の議論でPR委員会設置という流れが自然になったように思う。
- ・イラストや写真の配置など、専門家の手があるため、委員のみで済む話ではないのではないか。

2. その他

- ・次回は1月16日(火)に開催することを伝達した。

以 上